

令和8年度 学校経営方針

(1) 学校教育目標

のびよう ともに たくましく

- 「のびよう」…子どもが育つ学校 子ども自身が自らの力で成長する学校
「ともに」…仲間とともに、地域とともに なかまがつながり、みがき合い、地域とともに歩む学校
「たくましく」…つよく、やさしく、かしこく 健やかな身体、豊かな心、確かな学力を育む学校

(2) めざす児童像【子どもたちに育みたい力 自立・共生・創造（三重県教育ビジョンより）】

- ・よく考え、よく学ぶ子ども…話す、聞くことを大切に、可能性に挑み、自ら学ぼうとする子ども 《あきらめない》
- ・認め合い、高め合う子ども…たがいに信頼し、仲間とのつながりを深めようとする子ども 《あいさつ》
- ・心身ともに健康でたくましい子ども…命を大切に、健やかな身体と豊かな心をもつ子ども 《あんぜん》
- ・地域を愛し、地域をつくろうとする子ども…「ふるさと亀山」を受け継ぎ、未来を創る気持ちをもつ子ども
《ありがとう》
- ・思いやりをもち、責任をもって行動する子ども…相手の気持ちを考えて、正しい行動ができる子ども
《あとしまつ》

(3) めざす教職員像 ～すべての子どもをすべての教職員で～

- ・家庭や地域に愛され、信頼される教職員
- ・教育への情熱と使命感を持ち、自らの能力や資質を高めようとする教職員
- ・優しさと厳しさを持ち、子どもの声や思いを大切にする教職員
- ・同僚性のある職場の形成とワーク・ライフ・バランスを確保しようとする教職員

(4) 亀山南小学校の5つの「あ」

～あいさつ・あんぜん・あとしまつ・ありがとう・あきらめない～

(5) 重点目標

- 【1】個を大切に授業を展開し、基礎基本の定着と学ぶ力の向上を図る。
- 【2】体験活動を効果的に取り入れ、子ども一人ひとりの「生きる力」の育成に努める。
- 【3】お互いの人権を尊重し、心豊かによりよく生きる生活態度や実践力を養う。
- 【4】基本的な生活習慣の定着を図り、健康で安全な生活の確立を図る。
- 【5】保護者、地域とのコミュニケーションを図り、地域と一体となった学校運営・教育活動を実践する。
- 【6】働きやすい環境づくり、ワーク・ライフ・バランスの確保に努める。

(6) 行動計画(重点目標を実現するために)

【重点目標1】個を大切にした授業を展開し、基礎基本の定着と学ぶ力の向上を図る

- ① 一人ひとりが意欲的に取り組める授業づくりを行う。(一人1回以上の公開授業、朝学習、チャレンジタイム)
- ② 表現力の向上につながる授業づくりに取り組む。(授業のなかで必ず伝え合う場を設定)
- ③ 書く力と読解力の向上に取り組む。(ふりかえり・まとめの充実、年間読書量一人100冊)
- ④ 学力向上に向けた「学習規律・授業改善・学習習慣の確立」に努める。

(時間を守る、家庭学習の手引きと自主学習ノートの継続)

- ⑤ 一人一台端末の効果的な活用(授業等における協働的・個別最適化な活用方法の検討)

【重点目標2】体験活動を効果的に取り入れ、子ども一人ひとりの「生きる力」の育成に努める。

- ① 地域と連携した豊かな体験活動を推進する。(地域ふれあい集会・宿泊体験・里山学習など)
- ② 「生きる力」の育成につながる生活科・総合的な学習の時間の授業づくりを行う。
(つきたい力や目指す子どもの姿、学習のゴールを明確にした単元構想と授業展開)
- ③ ゲストティーチャーを招いて共に活動する場を設定する。(年10回以上)

【重点目標3】お互いの人権を尊重し、心豊かによりよく生きる生活態度や実践力を養う。

- ① ちがいを認め合った仲間づくりを行うとともに、一人ひとりの子どもへ有効な支援を行う。
(学級力アンケート、教育相談、個別の支援計画、仲間づくりレポート)
- ② 保護者・地域への啓発に努める。(人権・道徳教育に関する授業参観の開催年1回以上)
- ③ 子どもの関わる力と主体的に取り組む力の育成を図る。(なかよし集会、なかよし班遊び)
- ④ みなみ保育園や小中学校との交流学习を推進する。(保小交流、四小交流、人権フォーラム)

【重点目標4】基本的な生活習慣の定着を図り、健康で安全な生活の確立を図る。

- ① 挨拶運動の充実と啓発活動の取り組みに努める。(おはようみなみ挨拶運動の充実)
- ② 健康安全の取組の充実を努める。(登下校指導、交通安全教室の開催、学校保健委員会の開催)
- ③ 学校の環境美化・整備の充実を努める。(クリーン集会、安全点検月1回、校庭の芝生の維持管理)

【重点目標5】保護者、地域とのコミュニケーションを図り、地域と一体となった学校運営・教育活動を実践する。

- ① コミュニティ・スクールとして、「地域とともにある学校」づくりを推進し、学校運営協議会での熟議を具体的な形で学校運営に反映していく。
(学校運営協議会の開催年間5回、学校運営協議会委員の授業・行事参観の実施、学校運営協議会によるビジョンの共有、学校関係者評価の実施と公開)
- ② 開かれた学校づくりを推進する。(保護者との連携強化、学校だよりの地域回覧、学校運営協議会だよりの地域回覧、ホームページの積極的更新)
- ③ 学校、保護者、地域がふれあい、活動する機会を設定し、連携して子どもの健全育成に努める。
(地域ふれあい集会の開催、まちづくり協議会、自治会との連携による地域の運動会、文化祭への参加など)

【重点目標6】働きやすい環境づくり、ワーク・ライフ・バランスの確保に努める。

- ① 働きがいがあり、健康で明るい職場づくりに努める。
- ② 相談や報告の習慣化を図り、対話・会話を重視した学校運営に努める。
- ③ 総勤務時間の縮減に努め、休暇等の積極的な取得に努める。

(時間外労働時間一人あたり年間360時間以下、月最大45時間以下、一人あたり年間休暇取得日数15日以上、毎月4回定時退勤日設定、退校予定時刻ボード設置、協議内容の精選及び事前配付による会議の効率化、全体研修会以外の職員会議を含めた放課後の会議60分以内終了)